『Watson Studio で始める機械学習・深層学習』

ISBN: 978-4-86594-160-9

読者フォローアップ情報

株式会社リックテレコム・書籍出版部 最終情報更新日:2021年 2月 3日

2021.2.3 付 Neural Network Designer がサービス停止

IBM の Neural Network Designer は、2020 年 7 月 31 日をもってサービス提供を停止していま す。再開の見通し等は不明です。本書 6 章と 7 章の実習はこのサービスを前提としているため、残 念ながら現時点でこれら 2 つの実習を行うことはできません。なお、事態の把握と情報提供が遅く なり、読者の皆様にはご迷惑をお掛けしました。記してお詫び致します。

2019.6.28 付 入力データのダウンロードサイトが変更

p.189 の 3 行目に記載されている <u>https://ibm.ent.box.com/v/NNM-sample/data</u> が使えなくな りました。下記の代替サイトの URL をご利用下さい。

http://bit.ly/2J4 I Mgg

2019.3.11 付 IBM Cloud の更新に伴う不具合への対処方法

本書刊行後、IBM Cloud の画面やサービスが一部更新されたため、本書記載どおりの内容を再現 できない不具合が発生しています。また、読者の環境や設定、あるいは機械学習時の乱数の初期値 によって発生する不具合もあるようです。

そこで、2019年3月初旬現在の読者フォローアップ情報として、以下の12項目を著者がまとめ



ました。ご参考となりましたら幸いです。

p.76 上段 —

デプロイする地域/ロケーションの選択において、現在は「東京」を選択できますが、その 先の操作がうまくいきません。必ず「ダラス」を選択するようにしてください。

p.77 上段 -

インスタンスをデプロイする地域/ロケーションは、p.76 と同様に必ず「ダラス」を選択 してください。

p.80 上段 ——

Create Project でプロジェクトを作成する部分で、「Complete」 が出てきません。 代わりに「Standard」を選択してください。

p.93 上段 ——

「Model」の代わりに「Watson Machine Learning Model」を選びましょう。

p.93 下段 -

「Automatic」「Manual」の選択肢では、必ず「Manual」に変えるようにして下さい。 これを行わないと後の手順がうまくいかなくなります。

p.97 上段 ——

データクレンジングを省略してモデル作成を行いたい場合は、kid_sum_first.csv の代わりに kid_sum_first_refined.csv ファイルをアップロードして利用してください。

p.108 -

途中で乱数を使っている関係で、作成するモデルの振る舞いは、いつも同じとは限りません。ケース1で「腎疾患あり」となってしまった場合は、以下のデータで試してみてくだ さい。

AGE: 57 BP:60 AL:0 SC:1.2 POT:4.7 PCV:44

p.117 上段 -

設定に必要な「Scoring endpoint URL」とは、p.111 で調べた「Scoring End-point」のことで す。

p.121 下段~122 -

COPYRIGHT RICTELECOM ALL RIGHT RESERVED

「RUN SQL」がエラーになる場合は、「サービス資格情報」「新規資格情報」で資格情報を 作成後、再実行してください。

p.124 下段 ------

既存の Db2 Warehouse が表示されない場合は、IBM services の中から「db2 warehouse」 を選択し、資格情報を設定して保存してください。

p.189 下段 ———

現在ではデフォルト値が「jp-tok」になっていますので、これを「us-geo」に変更してく ださい。

p.236 上段 -

本書の画面コピーでは「Number of optimizer steps」の値が 10 になっていますが、p.234 の 記載どおりこの値は「5」に変更するようにしてください。

2018.12.11 付 Neural Network Designer が復旧

2018.11.26 付の不具合は解消し、正しく動作することを確認しました。

2018.11.26 付 Neural Network Designer の起動について

事案が解消したため割愛します。